

白木遺跡発掘通信

第1号 発掘調査がはじまりました

発行：2020.2.7

『白木遺跡発掘調査通信』では、丹羽郡大口町豊田地内で始まった白木遺跡の発掘調査の進捗状況や、調査の成果などをお知らせしていきます。

発掘調査を行っているのは図1の位置です。

調査は、愛知県埋蔵文化財センターが中心となって行います。

調査面積は740㎡で、調査期間は3月中旬まで行う予定です。近隣の皆さまへは定期的に発掘調査通信を掲示いたしますので、埋蔵文化財にたいするご理解を深める一助にいただければ幸いです。



図1 発掘調査位置

◎遺跡の概要

白木遺跡は、五条川の東側にある遺跡で、五条川の自然堤防沿いに広がる遺跡です。

ほ場整備事業に伴う発掘調査では、数棟の住居址が発見されています。住居址の北側にかまどを造りつけたものや、南側一帯に炉跡がみられるものが発見されています。住居址からは須恵器の蓋坏・高坏・土師器などが多数出土しました。須恵器の中には坏の底部に「人」の線刻をもつものが出土しています。

現在では、遺跡範囲の大部分が畑地として利用されています。

実際に畑地の表面にも土師器や須恵器を確認できるので、遺跡は状態良く残っていると考えられます。

遺跡がどの程度残っているのか試し掘りをした際には、旧河道と思われる堆積層とピットや土坑などの遺構が確認できました。

これからどのような遺構・遺物が発見されるか楽しみです。



白木遺跡出土土器



発掘調査地 現況

発注者：（公財）愛知県教育・スポーツ振興財団

愛知県埋蔵文化財センター

施工者：株式会社 イビソク 名古屋支店